

【新刊書籍】『仕事がかどるケアマネ術シリーズ① 第3版 そうだったのか！仕組みがわかる・使える障害者福祉』 発刊！

人気シリーズの最新刊！障害者支援の基礎から実践方法がわかる！高齢者福祉・障害者福祉の両面から考え、支援の質を高められる一冊

法律関連出版物、各種データベースを提供する第一法規株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：田中英弥）は『仕事がかどるケアマネ術シリーズ①第3版 そうだったのか！仕組みがわかる・使える障害者福祉』を2025年2月18日に発刊いたしました。



- ▶押さえておくべき基礎知識をまとめた【解説編】と、現場で抱きやすい疑問点と解決策を示した【ケーススタディ編】で「障害者福祉」についての情報を分かりやすく解説。
- ▶ケアマネジャーの視点に立った分かりやすい解説で、制度の仕組みや必要な知識をすっきり理解することができる。
- ▶ケアプラン付きの具体的なケーススタディで、実際にどのように制度を利用し、利用者のサービス提供に活かすのかが分かる。

★商品の詳細、購入はこちら（第一法規ストアサイト）★

<https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/105049.html>

・Amazonでの購入はこちら

<https://amzn.asia/d/dQWAvcr>

- ・楽天での購入はこちら

<https://books.rakuten.co.jp/rb/18070836>

- ・紀伊国屋WEB STOREからの購入はこちら

<https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784474096295>

【改訂POINT】

- ①複雑化・複合化した支援ニーズに包括的に対応する「重層的支援体制整備事業」について解説
- ②利用者家族にヤングケアラーがいた場合の重層的な支援方法を実践した事例を追加

Step 1 障害福祉サービスと介護保険サービスの関連性

4 重層的支援体制について

(1) 重層的支援体制の必要性とその背景

先に説明した「共生型サービス」は、障害者の高齢化に伴う制度の移行（障害福祉制度から介護保険制度）の円滑化を目的として制度化されました。このサービスは、障害者の高齢化の問題に対応することを中心にしています。近年では、高齢期にある親とひきこもりの子が同居し続けて親子ともに課題のある「8050問題」だけでなく、家族全体の複合的な問題が深刻な課題として浮かび上がってきました。障害福祉における8050問題では、「親亡き後」の問題として、在宅で家族（主に親）と同居している障害者の加齢と家族（主に親）の高齢化は深刻な課題でした。「親亡き後」の問題は、長年にわたって障害のある子どもの介護を行ってきた親の高齢化に伴う、家庭内における複合的な介護問題として考えることができます。特に、外部からの支援を受けにくい親子には共依存の関係が生じやすいため、要介護状態の親に焦点をあてた介護保険制度と、障害のある子どもに焦点をあてた障害福祉制度との谷間に陥り、制度的にも外部からの支援を受けにくくなります。

ここでは「8050問題」の背景として家族形態の変化を考えます。近年の世帯の家族類型別構成割合の推移では、夫婦と子ども世帯の割合を上回り、単独世帯が一番多い割合を占めます。単独世帯の割合増加の背景には、配偶者の死別・離別により生じた高齢者の単独世帯の増加に加えて、親と未婚の子どもとの同居世帯で親が死別（あるいは施設入所等）した場合に生じる単独世帯の増加の2つの要因が考えられます。そして後者の要因から、障害のある子どもと介護者の親の「8050問題」は、単独世帯の増加の温床でもあると考えることができます。子どものひきこもり状態でも、大家族の中でひきこもりの場合は家庭内における様々な関係性によって家族全体として社会的孤立の状態になりにくいことに対して、核家族（特に、親一人、子一人の同居の世帯など）では家族全体としても社会的孤立の状態になりやすく、外部の相談機関とのつながりが特にくいことが考えられます。

31

Case 5 あなたは見抜けるか!? ヤングケアラーの存在

事例のポイント

- ・利用者家族にヤングケアラーの疑い
- ・YCC（ヤングケアラーコーディネーター）との連携
- ・地域ケア個別会議の実施

事例の概要

伊藤昭一さん（仮名、80歳）

- 要介護度：要介護2
- 家族：看護師の娘（裕子さん44歳）、孫（結衣さん13歳、結衣さんの弟10歳）との4人暮らし
- 利用中のサービス：通所介護

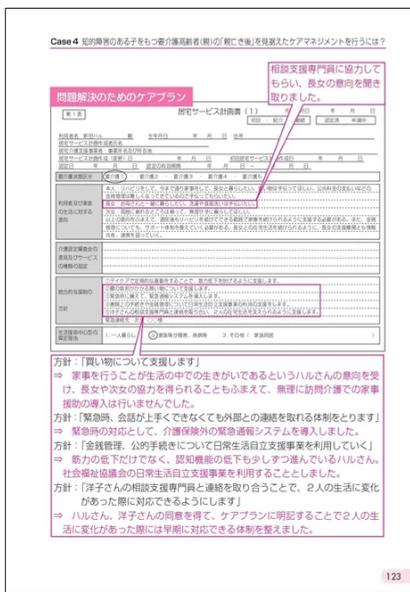


昭一さんは、娘の離婚後は妻と娘、孫2人との3世代で暮らしていました。3年ほど前から認知症の症状（物忘れ、見当識障害）と歩行不安（パーキンソン症候群）が見られ要介護認定を受けました。娘の裕子さんは夜間勤務もある看護師です。昭一さんの妻が亡くなってからは孫の結衣さんが日常的に家事を行う生活となっていました。結衣さんの弟はサッカーに熱中しています。

昭一さんは介護保険制度を利用してデイサービスに通所していましたが、次第に認知症様症状が現れ短期記憶の障害が進み、さらに昼夜逆転の症状も

129

他にも、具体的なケアプランの修正ポイントをわかりやすく記載！



【目次】

第3版 発行にあたって

はじめに

■解説編

Step 1 障害福祉サービスと介護保険サービスの関連性

1 障害者が介護保険の被保険者となる場合とは？

- (1) 障害福祉サービスを利用していた障害者が65歳になった時
- (2) 障害福祉サービスを利用していない障害者が65歳になった時
- (3) 特定疾病のある40歳以上の障害者
- (4) 被保険者資格等を巡る諸課題と留意点

2 介護保険サービスと障害福祉サービス、両方利用する場合は？

- (1) 介護保険優先の原則
(ただし、一律に介護保険が優先されるわけではない)とは？
- (2) 障害福祉制度固有のサービス（障害福祉サービスを利用できる場合）
- (3) 補装具・日常生活用具（障害）と福祉用具（介護）との関係と
介護保険制度との関係
- (4) 介護保険サービス利用時の自己負担に関する留意点

3 共生型サービスとは？

4 重層的支援体制について

- (1) 重層的支援体制の必要性とその背景
- (2) 分野を超えた重層的な支援体制へ

5 介護支援専門員（ケアマネジャー）に求められることは何か？

- (1) 障害福祉サービスを知り、利用者にとって最適なサービスを見極める

- (2) 利用者の障害に応じたケアプランを立てられるようになる
- (3) 利用者の家族との関わり ーどこまでケアマネジャーが関わるべき？ー
- (4) 一人で問題を抱え込まない ー周囲と上手に連携をとるー

Step 2 障害福祉サービスの仕組み

- 1 障害者総合支援法
 - (1) 障害者総合支援法の制定と目的
 - (2) 障害福祉サービスの種類
 - (3) 障害福祉サービス利用の流れ（利用方法と手続き）
- 2 障害者総合支援法の対象者
 - (1) 障害者総合支援法の対象
 - (2) 身体障害者とは
 - (3) 知的障害者とは
 - (4) 精神障害者とは
 - (5) 難病とは
 - (6) 高次脳機能障害とは
 - (7) 発達障害者とは
- 3 就労支援に関する社会資源
 - (1) 障害者雇用促進法の概要
 - (2) 職業リハビリテーションの専門機関

Step 3 日本の障害者支援制度の全体像を知ろう

- 1 障害者福祉を支える基本理念
 - (1) サービス利用者中心とは
 - (2) ノーマライゼーションとインクルージョン
 - (3) リハビリテーション
 - (4) 自立とエンパワメント
- 2 日本の障害者支援制度のこれまで
 - (1) 国際障害者年（1981年）までのあゆみ
 - (2) 国際障害者年（1981年）から社会福祉基礎構造改革までのあゆみ
 - (3) 社会福祉基礎構造改革から障害者総合支援法へのあゆみ
 - (4) 障害者総合支援法施行後の変更事項

■ケーススタディ編

- Case 1 65歳になる利用者の、障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行。
障害特性にあったケアプランの立て方って？
- Case 2 介護保険サービスの利用者のQOLを維持・向上させるには？
ー障害認定の申請と障害福祉サービスの活用ー
- Case 3 「認知症」症状のある利用者、精神障害が疑われるひきこもりの息子がいたら？

(8050 問題)

Case 4 知的障害のある子をもつ要介護高齢者（親）の「親亡き後」を見据えた
ケアマネジメントを行うには？

Case 5 あなたは見抜けるか！？ ヤングケアラーの存在

第一法規ストアサイトからの購入はこちら

【商品概要】

『仕事がかどるケアマネ術シリーズ① 第3版

そうだったのか！仕組みがわかる・使える障害者福祉』

監修：小澤 温

定価：2,200円（本体2,000円＋税10%）

仕様：A5判・144頁

発売元：第一法規株式会社

第一法規株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/59164